

令和7年（2025年）2月19日

飯山市長 江沢 岸生 様

第82回国民スポーツ大会飯山市準備委員会
競技式典専門委員会 ジャンプ台整備検討部会
部会長 藤本 智教

第82回国民スポーツ大会冬季大会に向けた
市営飯山ジャンツェの整備について（提案）

令和10（2028）年2月に開催が予定されている「第82回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会」に向け、ジャンプ台整備検討部会では令和6年10月29日より4回に渡り「市営飯山ジャンツェの整備方法」について、慎重に審議を重ねてまいりました。

この程、当部会としての結論を得るに至りましたので、別添のとおり市営飯山ジャンツェの整備案を提案いたします。

貴職におかれましては、本提案を尊重し、第82回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会が円滑に実施できますよう、準備を進めていただくことを要望します。

第 82 回国民スポーツ大会冬季大会に向けた
市営飯山ジャンプ台の整備について

(提 案)

令和7年（2025年）2月19日

第 82 回国民スポーツ大会飯山市準備委員会
競技式典専門委員会 ジャンプ台整備検討部会

目 次

1 提案にあたって

2 第 82 回国民スポーツ大会に向けた

市営飯山ジャンプ台の整備について

(1) 提案の内容

(2) 具体的な整備提案

3 参考資料

(1) ジャンプ台整備検討部会 検討結果

(2) ジャンプ台整備検討部会 委員名簿

1 提案にあたって

令和10(2028)年2月に飯山市で開催が予定されている「第82回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会」は、本市において2001年(平成13年)ながの飯山国体以来、27年ぶり2回目の国内最大級の総合スポーツ大会となります。

当大会の開催は、飯山市の魅力为全国へ発信することによる観光や経済活動への波及効果も期待できる大変意義深いものと期待をしているところです。

長野県スキー発祥の地である飯山市は、「大阪市とのスポーツ交流スキー姉妹都市宣言」を始め、観光業、商工業など多岐に渡りスキーとのかかわりを持ち、共に歩んで来ています。なかでも、来年誕生100年を迎える市営飯山シャンツェは、山田大起選手や竹内 択 選手など多くのオリンピック選手を輩出した歴史ある施設です。

今回、第82回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会に向けた市営飯山シャンツェの整備について検討するため、第82回国民スポーツ大会飯山市準備委員会 競技式典専門委員会にジャンプ台整備検討部会を組織し整備計画について協議を重ねた結果を提案いたします。

この提案の趣旨が十分活かされた市営飯山シャンツェの整備が行われ、国民スポーツ大会を契機とした将来の利活用施策が推進されることを強く期待します。

令和7年(2025年)2月19日

第82回国民スポーツ大会飯山市準備委員会
競技式典専門委員会 ジャンプ台整備検討部会
部会長 藤本 智教

2 市営飯山シャンツェの整備提案について

(1) 提案の内容

次のとおり提案します。

・第 82 回国民スポーツ大会「信州やまなみ国スポ」冬季大会スキー競技会において、ジャンプ競技会場となる市営飯山シャンツェの整備について、

- 1 選手の安全対策が図れること
- 2 円滑な競技運営ができること
- 3 公平な競技運営の確保が図れること
- 4 整備作業の省力化が図れること

以上を考慮し、大会が円滑に開催できるよう整備を進めること。

・第 82 回国民スポーツ大会「信州やまなみ国スポ」冬季大会スキー競技会に向けて、地元選手の育成や強化及び飯山高校の練習環境の充実を図るため、できるだけ早期に整備着手すること。

・市営飯山シャンツェをより一層利活用していくため、合宿誘致やイベント開催など更なる利用促進や、眺望を利用した展望スペースなど観光面の活用ができるように、将来に向けた計画的な整備を進めること

(2) 具体的な整備提案

別紙「市営飯山シャンツェ整備提案」のとおり

市営飯山シャンツェ整備提案

別紙

現施設の課題

- ・設備の老朽化、競技ルール上の課題など選手の安全対策に対する整備が必要である。
- ・地球温暖化の影響により、降雪量が不安定なため、円滑な競技開催に向け対策が必要である。
- ・東向きで日光の影響を受けやすいなど、冬季時の台整備及び維持が難しく、公平な競技運営の確保が課題である。
- ・冬季の台整備には労力がかかり過ぎるため、整備作業の省力化が求められる。

【将来像】

施設名	整備方法	概算整備費
アプローチ（インラン）	アイストラック	
ランディングバーン及びアウトラン	サマー化 人工芝	
アウトランの延長		
転倒防護板	アプローチ ランディングバーン	
スロープカー改修工事 （本体、レール延長）	既存施設の 全面改修	
	延伸	
リザルトシステム等 （リザルト・ビデオ判定・風向計他）	更新	
ナイター照明設備	ノーマルヒル用	
観客スタンド	新設	
ジャッジハウス屋上テラス	改修	
ミニシャンツェ	新設	
展望スペース	ノーマルヒル	
計		

【整備提案】

施設名	整備方法	概算整備費
アプローチ（インラン）	アイストラック	
ランディングバーン及びアウトラン	サマー化 人工芝	
アウトランの延長		
転倒防護板	アプローチ ランディングバーン	
既存スロープカー改修工事	既存施設の 全面改修	
リザルトシステム等 （リザルト・ビデオ判定・風向計他）	更新	
ナイター照明設備	ノーマルヒル用	
計		

【メリット】

- ・アプローチのアイストラック化により、寡雪時でも対応が容易で国民スポーツ大会を円滑に実施する事ができる。
- ・国民スポーツ大会後の夏季・冬季共に大会や合宿の誘致等により活用の幅が広がる。
- ・ジャンプ台の利用者が増えることは、宿泊者増や飯山市の知名度アップに繋がり地域活性化が図れる。
- ・ジャンプ台整備が容易となるため、役員的大幅な省力化が図れる。
- ・地元選手の育成強化、飯山高校の練習環境の充実が図れる。

将来に向けた市営飯山シャンツェの活用

国スポ後の活用		利用頻度	大会協力	整備協力	その他考えられる活用例
夏季 5～11 月	・ジャンプ体験会 ・夏季合宿の受入れ、誘致 ・オリンピック指導による小中高合同合宿 ・各種サマーjump大会 ・国際規模のジャンプorコンバインド大会	※ 4団体計 延べ3,150人 月平均450人 (R5利用者延べ 1,913人)	可	—	・国内の国際大会開催時に、トレーニング台として活用が可能。 ・企業やスポーツ団体とのイベントを開催。 ・施設東側（西回り線側）斜面等を活用して、協賛企業広告の掲示。
冬季 1～2月	・県スキー大会週間の開催 ・他県と合同による大会	※ 4団体計 延べ338人 月平均169人	可	可	・市を代表する、観光施設として活用。 ・3種類のサマーjump台により、小学生～一般まで利用でき、選手強化の拠点となり、近隣市町村の他、県内、県外からの利用が見込める。

※長野県スキー連盟、飯山市スキークラブ、飯山高校スキー部、飯山市ジャンプスポーツ少年団

3 参考資料

(1) ジャンプ台整備検討部会 検討経過

	開催日	議 題
第1回	令和6年(2024年) 10月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・市営飯山ジャンツエの現状 ・主な国内外のジャンプ台 ・基本設計実施業者からの整備提案 ・検討部会の進め方
第2回	令和6年(2024年) 11月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・整備検討に伴う参考資料 ・整備方法の種類 ・将来に向けた構想(素案)及び国スポに向けた整備計画(素案)
第3回	令和6年(2024年) 11月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・国内ジャンプ台の整備状況 ・ジャンプ競技ルールの確認 ・将来に向けた構想(草案)及び国スポに向けた整備計画(草案)
第4回	令和6年(2024年) 12月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・整備提案の確認

(2) ジャンプ台整備検討部会 委員名簿

職 名	氏 名	役 職
部会長	藤 本 智 教	(特非)飯山市スポーツ協会 理事
副部会長	久 保 田 真 一 郎	長野県飯山高等学校 スキー部顧問
委 員	高 橋 信 夫	(公財)長野県スキー連盟 副会長
委 員	岸 田 博 章	飯山市スキークラブ 会長
委 員	小 泉 敦	飯山市スキークラブ ジャンプ部
委 員	鷲 森 秀 樹	飯山市ジャンプスポーツ少年団 コーチ
委 員	栃 本 翔 平	(一社)Take Sun「地域おこし協力隊」マネージャー
委 員	渡 辺 信 太 郎	飯山市総務部企画財政課財政係長
委 員	宮 沢 千 早	飯山市建設水道部道路河川課監理係長
委 員	小 林 真	飯山市建設水道部上下水道課水道係長

(順不同 敬称略)